

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学		講義	石川 倫子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
生体の仕組みを理解することは様々な疾患の成因や病態を知るうえで必要不可欠である。本科目では、人体を理解する上で必要な生理機能について解説する。また、疾患との関わりについても適宜紹介し、病態の成因についての理解を深める。				
授業の到達目標				
人体の様々な生理機能について学び、学習した知識を疾患の成因や治療方針に関連付けて理解できるようにする。				
授業計画				
回	内容			
1	細胞の構造と機能・興奮と伝導の仕組み			
2	神経と筋・自律神経			
3	感覚・中枢神経			
4	呼吸			
5	循環・血液			
6	腎臓			
7	消化吸収と代謝			
8	内分泌			
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	医療従事者に必要な基礎的生理学知識(国家試験問題が解けるような知識)が身についているかを確認します。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
Qシリーズ 新生理学	竹内昭博		日本医事新報社	
自由記載				
備考				
生理学関連の教科書を1冊も持っていない場合は参考文献に挙げている本の購入をお勧めします。				